

## 精神保健福祉論Ⅱ

担当教員 平川 泰士

配当年次 3年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 第2学期

授業形態 講義

単位数 2

## 【授業のねらい】

- 1 精神障害者の支援において係わる施設、団体、関係機関等について説明できるようになる。
- 2 更生保護制度と医療観察法について説明できるようになる。
- 3 社会資源の調整・開発に係わる社会調査の概要と活用について基礎的な知識を備える。

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	相談援助にかかわる組織、団体、関係機関①行政組織と民間組織
2	相談援助にかかわる組織、団体、関係機関②福祉サービス提供施設・機関の役割
3	相談援助にかかわる組織、団体、関係機関③インフォーマルな社会資源の役割
4	相談援助に係わる組織、団体、関係機関④専門職や地域住民の役割と実際
5	更生保護制度の概要と精神保健福祉との関係①刑事司法と更生保護
6	更生保護制度の概要と精神保健福祉との関係②保護観察所と更生保護の担い手
7	更生保護制度の概要と精神保健福祉との関係③司法・医療・福祉の連携の必要性和実際
8	医療観察法の概要と実際①医療観察法の意義と内容
9	医療観察法の概要と実際②医療観察法の審判と精神保健参与員の役割
10	医療観察法の概要と実際③入院医療
11	医療観察法の概要と実際④地域処遇
12	医療観察法の概要と実際⑤社会復帰調整官の役割と実際
13	社会資源の調整・開発にかかわる社会調査①意義・目的・対象・倫理
14	社会資源の調整・開発にかかわる社会調査②量的調査法と質的調査法
15	社会資源の調整・開発にかかわる社会調査③ICTの活用・実践例

## 【履修上の注意事項】

本科目は精神保健福祉士国家試験における指定科目です。事前にテキストに目を通し配布されたプリント内容をテキストで確認する、基礎的な用語を確認する、指定された課題に取り組むなど予習し、理解できなかった点を確認し復習を行ってください(60分程度)。講義では学生間での報告・積極的な協議・話し合いを通じた学習をします。

## 【評価方法】

講義中の課題・レポート(30%)、期末試験成績(70%)をもとに評価を行う。  
再試験は実施しない。

## 【テキスト】

新精神保健福祉士養成講座⑥『精神保健福祉に関する制度とサービス』中央法規

## 【参考文献】

『精神保健医療福祉白書』精神保健医療福祉白書編集委員会編, 中央法規